

当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の研究に関するお願い

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症は、カルバペネム系抗菌薬などに耐性を示す肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症です。米国では、カルバペネム耐性の肺炎桿菌の割合は約 10%と報告されています。一方、日本での CRE の検出は 1%未満であるとされていますが、院内感染の原因となるため、早期に発見し嚴重な感染対策が必要です。

当院では、CRE である MBL 産生腸内細菌科細菌のアウトブレイク事例を経験し、多くの感染対策を行いました。その結果、H27 年 1 月以降、臨床検体から CRE は検出されていません。

CRE は、世界でも緊急に対策が必要な耐性菌であり、今回の当院の事例を報告することは、CRE の院内感染の再発防止に寄与するものと考えられます。そこで、本事例の原因を検索し、実施した対策についての評価を行うことを目的とした研究を行いますので、ご協力をお願いいたします。

研究対象となる患者さんは、大阪医療センターに通院もしくは入院中の患者さんで、CRE である MBL 産生腸内細菌科細菌が検出された方です。本研究は、調査対象期間に行われた診療の内容を調査するものです。

性別、年齢、検出された菌種、臨床経過などを、診療録（カルテ）などから調べ、検出状況の把握、伝播のリスクとなった要因を抽出し、実施した感染対策や介入がアウトブレイクの低減に効果があったかどうか評価を行います。この研究のために新たな検査や調査を行うことは一切ありません。

また、データは匿名化して解析・保存し、結果は関連学会などで公表されますが、個人を特定するような記載は行いません。

本研究に御協力いただけない場合は、下記連絡先まで FAX にてお知らせください。その方のデータは研究資料から削除し、研究には使用いたしません。ただし、すでに発表されている場合には発表データを廃棄することはできませんので、ご了承ください。また、研究参加に御協力いただけない場合でも、今後受けられる診療に関して、いかなる不利益を受けることもありません。

以上のことをご理解の上、御協力頂きますようお願い申し上げます。

研究課題名「当院におけるCREのアウトブレイクへの対応」（研究責任者 感染制御部 上平朝子）

研究課題名「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌によるアウトブレイクの実験」（研究責任者 外科 宮本敦史）

研究課題名「抗菌薬適正使用の推進とメタロβ-ラクタマーゼ産生菌の検出数との関連性について
の後方視的検討」（研究責任者 感染制御部 中蔵伊知郎）

研究課題名「当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (Carbapenem-Resistant *Enterobacteriaceae* :
CRE) アウトブレイクの経過と対策の評価」（研究責任者 感染制御部 坪倉美由紀）

お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
感染制御部 感染制御室室長 上平朝子
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 2-1-14
TEL 06-6942-1331 FAX 06-6946-3652